

事業者向け 令和2年度 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別課題や児童の活動の区分けを行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		支援の質をより高める、活動の幅を広げるためにはもう少し人員があると助かるが、現在いるスタッフ数で工夫しながら、できる限りの活動は行えている。支援のグループに対して複数人のスタッフを配置するようにしている。個別支援には人手が必要になる。児童の安全性を優先している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	車いす対応のバリアフリー化は未実施。そのため、外へ行く道中でスロープが付いてないところがあり、移動が大変なことがある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	決まったツールは用意していない。必要に応じて用意して行く。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			後期より、プログラムごとにリーダースタッフを設けて、新規プログラムの計画、実施、変更などを計画的に行うようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			固定化されているプログラムがある。そのため、活動ごとに担当スタッフを設け内容の更新を検討中。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		平日、休日はミーティングにより十分に行っている。週に1回、個別支援に基づい

					た課題を設定し、支援の実施している。 10 長期休暇はミーティングの時間がとりにくく、細かい目標設定までは出来ていない。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	プログラムに個別、集団活動の機会が組み込まれている。週案などを作成し、サービス計画を実施して行く。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動後に振り返りを行っている。ヒヤリハットがある児童が中心である。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援を行った児童の記録を中心に取っている。必要に応じて保護者宛のメールの内容も記録に残している。検証・改善は、翌日ミーティングで実施。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			今年度より、創作活動を取り入れている。地域活動はコロナ禍により未実施。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			10月時点で開催されていない。11月に実施予定。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象が小学生なので非該当。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			こども発達支援センターやわたに協力を仰いだ。市川市発達センターの研修に参加した。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍により、未実施。普通級との児童と関わりがない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			所長補佐が市の障害児支援連絡会の幹事を務めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			メールや降園時に確認をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今年度、こども発達支援センターと共同で実施予定であったが、コロナ禍で未実施。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍で未実施。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月刊ひまわりの配布や行事予定の公表(HP)で行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			保護者への一斉メール配信時にBCCを失念し、保護者のメールアドレスが周知されてしまった。写真掲載は保護者の同意を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもへの視覚的、簡易的な情報伝達に留意している。保護者へは対象者がいないため、特別な配慮はしていない。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍で行事は未実施。例年法人主催でバザーを実施している。地域とのかかわりは薄い。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	八幡学園のマニュアルを使用。コロナ対応は2施設1事業所で作成、周知済み。防犯マニュアルは未実施。感染症マニュアルをメールで配信
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			2施設1事業所で毎月一回実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			昨年度の反省のより、事業所内で勉強会を実施している。

41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		対象者がいないため、記載していない。規則はあるが保護者や子どもには未確認。契約時に説明をしている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		栄養士と相談をしている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		活動後に実施し、定例会議でも振り返りを行っている。